

新幹線関連道路整備事業

受賞機関 岩手県二戸地方振興局

はじめに

東北新幹線盛岡～大宮間が昭和57年に開業して以来、20年余りの月日が流れた。

その間、岩手県北地域における新幹線の早期開通に対する期待は並々ならぬものがあった。

岩手県では、平成14年12月の東北新幹線盛岡～八戸間の開業にあわせ、高速交通網の効果をより広い域圏に波及させるため、平成6年度に新幹線関連道路整備事業を立ち上げ、本地域の重点的な道路整備に力を注いできた。

事業の概要

新幹線関連道路整備の実施にあたっては、二戸駅と近隣地域とを結ぶ4ルートを選定し、それぞれのルート上で峠部や未整備区間など、交通の難所となっていた区間10工区総延長約26kmを抽出したうえで、集中的な整備を実施した。

○新幹線関連道路整備事業全体概要

総延長：約26km

事業年度：平成6年度～平成14年度

総事業費：約400億円

工区の概要（平成14年度完成工区）

○合川・似鳥工区

路線名：主要地方道二戸安代線

延長幅員：L=5,600m、W=6.5(13.0)m

道路規格：第3種第2級 設計速度：60km/h

主要構造物：橋梁6箇所、トンネル2箇所

事業費：約97億3千万円

二戸駅までの短縮時間：約11分短縮



合川・似鳥工区全景（平成14年7月開通）



折爪工区全景（平成14年11月開通）

○折爪工区

路線名：主要地方道二戸九戸線

延長幅員：L=3,200m、W=6.5(9.5)m

道路規格：第3種第3級 設計速度：50km/h

主要構造物：橋梁3箇所、トンネル1箇所

事業費：約83億5千万円

二戸駅までの短縮時間：約7分短縮

事業の特徴

新幹線関連道路整備事業の実施によって、当地域における交通の難所が一気に解消され、新幹線二戸駅へのアクセス等高速交通体系が飛躍的に充実した。

また、安全で快適な道路が整備されたことにより、地域間交流の活発化とともに、当地域の活性化や産業・経済・文化の発展に大きく寄与するものと期待されている。



位置図